



〔写真上〕毎月楽しい「おはなしひろば」
〔写真右〕昨年8月に新しくなった「こまくさ号」は、市内小学生のデザインを採用



「活字離れ」が指摘されている昨今、「本を読む」ことの大切さをあらためて知ってほしいと、国を挙げてさまざまな取り組みがされています。平成20年には国会決議により、平成22年を「国民読書年」とすることが定められました。

当館においても、「こまくさ号」の巡回や配本所の継続など、「本を読みたい」と思ったときに読書ができる環境の整備に、今後も努力していきます。

本が見つからないとき…
探している本や調べたいことについて、資料を探すお手伝いをします（レファレンス・サービス）。読みたい本が館内で見つからない場合は、相互貸借制度に基づき、県内の公立図書館とのネットワークで、本を取り寄せて借りることができます。

図書館資料がコピーできます
当館の資料や、当館を通して借りたほかの図書館の資料は、著作権法で認められる範囲でコピーすることができます。希望する方は、カウンターにお申し込みください（有料）。デジタルカメラなどで複写したい場合は、お気軽にご相談ください。

移動図書「こまくさ号」巡回中
も、気軽ににご相談ください。

昨年8月に移動図書館車「こまくさ号」が新しくなりました。現在、市内の小中学校を含む23カ所、配本所25カ所を巡回しています。「こまくさ号」で借りた本の返却期間は、次の巡回日までの約1カ月です。

市民の生涯学習の場として
当館では歴史的な書籍のほか、医療や法律、ビジネスなどより生活に役立つ資料も幅広く収集しています。

そして、単に「本を借りる・返す」役割から、所蔵する資料をベースにした企画を通して、

95年の歴史とともに

～頭にスパイス 心にビタミン 本のちからを活用しよう～

図書館は1914（大正3）年11月3日、「明治記念文庫」としてスタートしました。その歴史は県内でも古く、宮城県図書館・石巻市図書館に次ぐ歴史ある図書館です。開館から95年たった本市の図書館。昨年情報センター「アテネ」と管理・運営が一体となり、本年4月にはアニメ制作会社「旭プロダクション」が開所するなど、図書館を取り巻く環境が変化しています。

歴史を受け継ぎながらも時代の流れに対応するため、図書館の一部をリニューアルしました。図書館を利用し、ぜひ「読書の楽しさ」を味わってください。本を読んで「頭にスパイス・心にビタミン」を注入しましょう！ 図書館が応援します。

☎図書館 ☎26-3004 アテネ ☎22-1500

個人文庫コーナーを新設

白石出身で、児童文化・家庭教育に功績のあった故・鈴木道太氏（明治40年8月1日～平成3年3月13日）の著作本および収集資料約4,200点の寄贈を受け、その整理作業が終了しました。今後は、市民の皆さんをはじめ、教育を研究する方の貴重な財産として、資料の活用と保存をしていきます。

鈴木氏のほかにも、白石で活躍・尽力された8人の貴重な資料を保存し、資料の提供に努めています。



▲新設された個人文庫コーナー（図書館2階）

書架の増設・蔵書の拡大

本年4月、伝統ある白石高校と白石女子高校が統合されたことにより、両校から使われなくなった書架（本棚）の寄贈を受けました。

多くの方が読書の「楽しみ」や「喜び」を共有できる場として運営していきます。

●白石歴史おはなし会

古代から明治ごろまでの、白石に關係の深い事柄を分かりやすく紹介し、歴史を身近に感じることのできる企画です。

●地元作家を知る月間

毎年11月に、白石出身の方や白石にゆかりのある方の作品などを展示しています。

また、児童・生徒の夏休み期間中は、図書館の資料をベースにした「ガーデニングひろば」や「手作り絵本講習会」なども実施しています（本年度は受け付け終了）。作品を作りながら、大人と子ども、参加者が楽しく交流する場となっています。

当館では、限られたスペースの中、利用する方が一冊でも多く「大好きな本」に出会える環境を目指し、見やすい書架づくりに努力しています。

資料庫としての図書館
当館には一般の書籍のほかに、新聞7紙が閲覧できます。雑誌は、43種類を閲覧または借りることが出来ます。

白石の歴史や白石に関する資料を、2階郷土資料室に収集していますので、郷土について調べたい場合は、ぜひご利用ください。

郷土資料室にある本は、購入したものだけではなく、白石在住または県内をはじめ、白石在住または出身の方が、本を出版された際に寄贈いただいたものなど貴重な資料もあります。本を出版された方や郷土に関する資料をお持ちの方は、当館にぜひご寄贈ください。

図書館ボランティアの協力
図書館の運営には、ボランティアの皆さんのサポートが欠かせません。本を愛する・地域を愛する皆さんにより、図書館は成り立っています。

●書架整理ボランティア
いつでもきれいな状態で本を利用できるように、書架の整理



▲支援ボランティアの活動の様子

を行っています。

●読み聞かせボランティア
「おはなしひろば」（原則第2木曜日アテネで開催。22ページに掲載）や市内の小中学校や保育園などで、絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。

●図書館支援ボランティア
図書館の花壇整備や植栽の手入れ、行事のサポートを行っています。

※来年度も広報しろいし3月号で募集の予定です。

大型絵本を貸し出しています

子どもたちに大人気の大型絵本は、子ども会行事など大勢の方に読み聞かせしたい場合にご利用ください。

●貸出冊数 1回2冊まで
●貸出期間 5日間
※各種行事への読み聞かせに限ります。

情報センター「アテネ」をご利用ください

■マルチメディアバザー・パソコン講習会（1階）

マルチメディアバザーでは、インターネット（有料）をはじめ、備え付けのパソコンによる学習やご自分のパソコンを持ち込んで自主学習ができます。

パソコンの使い方を相談できるスタッフが常駐していますので、安心して自分のペースで学習することができます。

パソコン講習会は、初めての方やレベル・アップしたい方などコースが選べます。



▲絵本コーナー

■DVDコーナー 無料インターネット（2階）

2階絵本コーナーの貸出カウンターでは、DVDの館内視聴や借りることができます。

また、インターネットをご利用になりたい方は、無料インターネットコーナーもご利用ください。



▲マルチメディアバザー

■絵本コーナー（2階）

国内外の作品約5,000冊があります。長年、読み継がれてきた絵本から新刊までを館内で読んだり、借りたりできます。明るく静かな環境なので、赤ちゃんと一緒にゆっくり絵本を



▲無料インターネットコーナー